

ひびきあい No.17

平成31年3月 岐阜県人権教育協議会

夢に向かって羽ばたく子どもたちの健やかな成長を願い、
児童生徒に人権尊重の精神を育む

～偏見や差別に対する「認識力・自己啓発力・行動力」を育み
確かな人権感覚を身に付ける～

人権教育を通して 育む三つの力

認識力

身近な生活の中にある不合理なことや
差別事象を捉えたり、見抜いたりする力

自己啓発力

生活を振り返り、自己の心の中にある偏
見や差別的なものの見方や考え方を改
めようとする力

行動力

日常生活の中の人との関わりにおける差
別事象に対して、正しく行動することがで
きる力



この三つの力は、それぞれが関わり合いながら向上
していくものです。

これらの力を育んだ児童生徒は、目の前のあつて
はならない事象に対して、「このまま許されているの
か」「解決しなければ」と感じ、働きかけようとするに
違いありません。このような姿が、確かな人権感覚が
身に付いた児童生徒の姿です。

日々の指導を意図的、継続的に行うためには、各教科、領域において、教材研究と児童生徒理解に基
づいて、人権教育で身に付けさせたい三つの力を具体化することが大切です。

人権感覚とは、人権の価値やその重要性にかんがみ、人権が擁護され、実現されている状態を感知して、
これを望ましいものと感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知して、それを許せないとするような、価値
志向的な感覚である。「価値志向的な感覚」とは、人間にとってきわめて重要な価値である人権が守られて
いることを肯定し、侵害されることを否定するという意味において、まさに価値を志向し、価値に向かおうとする
感覚であることを言ったものである。このような人権感覚が健全に働くと、自他の人権が尊重されていること
の「妥当性」を肯定し、逆にそれが侵害されることの「問題性」を認識して、人権侵害を解決せずにはいられな
いとする、いわゆる人権意識が芽生えてくる。つまり、価値志向的な人権感覚が知的認識とも結びついて、
問題状況を変えようとする人権意識又は意欲や態度になり、自分の人権とともに他者の人権を守るような
実践行動に連なると考えられるのである。

「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」平成20年4月 文部科学省

「人権という普遍的文化」を 築いていくために

— 「ひびきあい活動」を核とした継続的な取組の充実 —

優れた取組を継続して行っている「人権文化あふれる学校賞」を受賞した園・学校の実践事例を紹介します。

土岐市立土岐津小学校附属幼稚園

◇高齢者とのふれ合いを通して、高齢者に対する尊敬の念や感謝の心を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・地域の高齢者クラブの方から、日本の伝統的な遊びや昔の生活の様子について聞いたり、実際に体験したりすることを通して、高齢者に対する尊敬の念や感謝の心を育てています。
- ・年間を通して、高齢者との交流を重ねることで他者への「優しさ」や「温かさ」を育んでいます。

○取組のすばらしさ

- ・高齢者との交流から学んだ他者への感謝の気持ちや相手を思いやる気持ちを園での生活に生かせるよう意図的・計画的な取組を行っています。



大垣市立日新小学校

◇主体性を大切にした指導を通して、認め合い、励まし合う心を育てています。

○継続して取り組んでいること

- ・「ぼかぼか言葉」や「ぼかぼか行動」について児童会が中心となって提案し、各学級で話し合っただけで決めた取組を子どもたちが自主的に行っています。
- ・地域にある福祉施設との交流活動に取り組むことで、年齢や障がいなどの違いを認め、相手の立場になって考えようとする態度を育成しています。



○取組のすばらしさ

- ・認め合い、励まし合う心を育て、相手のことを考えた行動ができるよう、児童の主体性を大切にした指導や、地域社会との継続した交流活動が行われています。また、「日新小情報モラルの約束」を決めるなど今日的課題にも取り組んでいます。

高山市立清見中学校

◇自分の考えをもち、少数派でも臆せず発言して伝え、仲間の考えを尊重し、より高いものを作り上げていく力を育む取組を進めています。

○継続して取り組んでいること

- ・「思考スキル」を活用した学習活動を通して、解決への見通しをもち、自分の考えを明確にすることができるようになっています。
- ・単位時間の「人権教育の観点から付けたい力」を明確にし、指導方法の改善を図っています。
- ・保護者、地域の方と意見交換を行う交流活動を進めています。



○取組のすばらしさ

- ・相手やまわりのことを思いやり、自分一人でも差別を許さない強さをもてるように、地域・学校・家庭がひとつになった人権教育を継続的に進めています。

県立吉城高等学校

◇社会や身近な生活の中にある人権問題を自らの課題として捉え、克服するための方法を主体的に考え、実践する取組を進めています。

○継続して取り組んでいること

- ・「小論文ニュース」等を発行し、現代社会が抱える人権問題について考え、話し合ったことを文章化して認識を深めています。
- ・地域との連携については、「YCKプロジェクト」を学校全体で取り組み、古川祭での清掃活動や英語案内ボランティア等を行っています。



○取組のすばらしさ

- ・社会や身近な生活の中にある人権問題を捉え、考えたことなどを各種通信等で文章化することにより、問題意識を共有し、自分たちの生活や人権意識を見つめ直す取組が行われています。